bindでDynamicDNS設定した際、jnl(ジャーナルファイル)をzoneファイルに手動反映

【結論】

[Zoneファイル毎に実行]
rndc sync -clean example.com
　(-clean と付けると、反映後に、example.com.zone.jnl は削除されます)

[全てのZoneファイルに対して実行]
rndc sync -clean
　(-clean と付けると、反映後に、example.com.zone.jnl は削除されます)

手動反映させるには、上記の方法が一番、手っ取り早いと思う。
急がなければ、jnlファイルは定期的にzoneファイルへ反映しているので、
zoneファイルとjnlファイルのタイムスタンプを比較して、zoneファイルのほうが新しければ反映済み

□□□jnl□□□□□□□□□□□□□□□□
```
# rndc dumpdb -zones
# cat /var/named/data/cache_dump.db | grep ddns.example.com
```

その他の方法として、以下の方法もあるらしい (動作未確認)

```
# rndc freeze example.com
# cat /var/named/zone/example.com.zone
# rndc thaw example.com
```

しかし、この方法は、確実に「thaw」を実行しないと、
反映されなくなる点に注意が必要との事だった。

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1012
製作者: n/a
最終更新: 2022-07-15 20:46

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/13/ja/bindでdynamicdns設定した際、jnlジャーナルファイルをzoneファイルに手動反映.html